

いわて自然公園特派員だより(岩手県自然保護課)

場所：八幡平【雪解けの八幡平】

令和4年5月30日(月) 情報提供(文、写真) 岡野 治



ドーナツ状水面は半分の鏡沼



ガマ沼の水面(ガマ沼西側)

八幡平の雪解けも進んでいます。6年前からドラゴンアイと呼ばれるようになった鏡沼はじめメガネ沼、ガマ沼、八幡沼などで、残雪と水面による様々な形状、水色を見てきました。

ドラゴンアイ人気は、ますます高まっているようで、平日にも拘わらず、鏡沼までは多数の散策者が訪れていましたが、鏡沼のドーナツ状の水面は、まだ半分しか出来てなく(東側の半分は残雪)、中央部の開眼ももう少し先のようなようです。融けた水面は綺麗な水色でした。



展望台から八幡沼と湿原を臨む



八幡沼の水面(八幡沼北側)

鏡沼からメガネ沼～山頂～八幡沼、湿原を一周しましたが、雪解けは例年より早く、八幡沼はほとんど水面が現れ、湿原も大部分は地面が現れていました。湿原の木道部では残雪の踏み抜きに注意必要ですが、管理員さんが危険個所の除雪作業をしてくれていました。

好天で視界も良く、岩手山、秋田駒ヶ岳が綺麗に臨め、遠くの鳥海山、岩木山も見えました。

八幡平に向かうアスピーテライン、樹海ラインでは新緑が楽しめました。



雪解けが進んでいた八幡沼湿原



見返峠から畚岳(右手前)～秋駒岳(中央奥)